

2024年度

環境経営レポート

(対象期間：2024年2月1日～2025年1月31日)

発行日：2025年2月13日



笹崎塗装株式会社

1. 組織の概要

- ・事業所名 笹崎塗装株式会社
- ・代表者氏名 深野朋子
- ・所在地 本社：東京都葛飾区新小岩 3-28-20
- ・環境管理責任者 深野起由
及び連絡先 TEL：03-3653-6127 FAX：03-3653-9332
Eメール：sasazaki_p_kiyoshi@yahoo.co.jp
- ・事業活動内容 塗装工事、防水工事
- ・建設業許可 東京都知事（特-2）第11236号
工事種類：建築工事業、塗装工事業、防水工事業、建具工事業
- ・事業所概要 従業員数：14人 パート：1人
延べ床面積：162㎡

2. 対象範囲

- ・登録組織名 笹崎塗装株式会社
- ・対象事業所 本社：東京都葛飾区新小岩 3-28-20

※当社は全組織・全活動を対象としています。

4. 環境経営方針

<企業理念>

笹崎塗装株式会社は、「建設塗装工事」を通じて、環境に配慮した事業活動を行い、エコアクション21 環境経営システムの継続的改善に努め、環境にやさしい企業を目指します。

<行動指針>

- 産業廃棄物の削減に努め、分別を徹底する事によりリサイクル活動を推進します。
- エネルギー消費削減、省エネルギー化を進めるため、電気及びガソリンの使用量の低減に努めます。
- 環境に配慮した工法・製品の提案・採用により環境負荷の低減に努めます。
- 節水を進め、水使用量を低減するように努めます。
- 化学物質の使用量の適正管理に努めます。
- 環境関連法等を遵守するとともに、内外に環境改善への活動を約束し、環境経営レポートを作成し公表します。
- 社員全員に環境経営方針を周知させ、全従業員にエコアクション21 環境経営システムを徹底します。

制定日 2020年7月1日
笹崎塗装株式会社
代表取締役 深野朋子

5. 環境経営目標・環境経営目標の実績

5.1 中長期目標

	2020年度 ※1 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気		△6%	△6%	
本社 (kWh)	9,029	8,487	8,487	△6%
(kg-CO2)	3,593	3,377	3,377	
建設現場等 (kWh)	5,477	5,148	5,148	
(kg-CO2)	2,492	2,342	2,342	
・都市ガス		△6%	△6%	
本社 (m ³)	41	38	38	△6%
(kg-CO2)	88	82	82	
・ガソリン		△6%	△6%	
社有車 (L)	9,601	9,024	9,024	△6%
(kg-CO2)	22,275	20,938	20,938	
現場機械 (L)	1,527	1,435	1,435	
(kg-CO2)	3,543	3,330	3,330	
・軽油		△6%	△6%	
社有車 (L)	5,699	5,357	5,357	△6%
(kg-CO2)	14,703	13,820	13,820	
CO2合計 (kg-CO2)	46,696	43,894	43,894	△6%
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (kg)	11.4	△6% 10.7	△6% 10.7	目標設定
・産廃 (kg)	29,084	△6% 27,338	△6% 27,338	△6%
3. 水使用量削減 (m ³)	83.5	△6% 78.4	△6% 78.4	△6%
4. 塗料類の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
5. 環境対応塗料の紹介 (件)	0	4	4	4

※1 基準年度は、2020年2月～2021年1月に変更した。

※ 電気のCO2排出係数は、H30年(現場:東京電力エナジーパートナーの調整後排出係数0.455kg-CO2/kwh及び本社:東京ガスの調整後排出係数0.398kg-CO2/kwh)を使用した。

※ ガソリンのCO2排出係数は、2.32kg-CO2/L、軽油のCO2排出係数は、2.58kg-CO2/L

5.2 2024年度運用結果（2024年2月～2025年1月）

	基準年度	目標	2024年度実績	目標達成状況
1. 二酸化炭素排出量削減				
・電気				
本社 (kWh)	9,029	8,487	9,798	×
(kg-CO2)	3,593	3,499	3,899	
建設現場等 (kWh)	5,477	5,148	0	○
(kg-CO2)	2,492	2,342	0	
・都市ガス				
本社 (m ³)	41	38	28	○
(kg-CO2)	88	82	60	
・ガソリン				
社有車 (L)	9,601	9,024	3,740	○
(kg-CO2)	22,275	20,938	8,677	
現場機械 (L)	1,527	1,435	670	○
(kg-CO2)	3,543	3,330	1,555	
・軽油				
社有車 (L)	5,699	5,357	4,564	○
(kg-CO2)	14,703	13,820	11,776	
CO2合計 (kg-CO2)	46,696	40,512	25,968	○
2. 廃棄物排出量削減				
・一廃 (kg)	11.4	10.7	7.6	○
・産廃 (kg)	29,084	27,338	51,992	×
3. 水使用量削減 (m ³)	83.5	78.4	57.5	○
4. 塗料類の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	○
5. 環境対応塗料の紹介 (件)	0	4	0	×

目標達成状況：○目標達成 △目標未達成但し基準年比減 ×目標未達成

6. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の計画

環境経営計画	取組結果	評価	次年度の計画
1. 二酸化炭素排出量削減 (電気) ①昼休みの消灯 ②空調温度(夏26℃・冬22℃)	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みの消灯の実施は、100%であった。 ・残業時間の増加により事務所の稼働率が高くなった。エアコンの空調温度は基準温度に努めた。 	×	継続して実施する。
1. 二酸化炭素排出量削減 (ガソリン・軽油) ①エコドライブ教育実施 ②乗合いで使用 ③燃費管理	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ教育やリーフレット、前年度の月車輻別燃費表を掲示し従業員の意識向上を行った。 ・現場は最小台数で移動した。 ・月単位で車両毎に記録している。 ・公共交通機関利用 	○	継続して実施する。
2. 廃棄物排出量削減 ①裏紙の利用 ②コピー損紙削減 ③分別(混廃安定型、金属、廃油)の徹底 ④廃油のリサイクル化	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合を除き両面コピーを行っている。 ・混廃安定型、金属、廃油は分別管理 ・廃油(塗料)は100%リサイクルの産廃業者に委託した。 	×	継続して実施する。
3. 総排水量の削減 ①節水シールの貼り付け	<ul style="list-style-type: none"> ・水道箇所に節水シールを貼り節水に努め使用量が減少した。 	○	継続して実施する。
4. 化学物質適正管理 ①SDSの管理 ②在庫管理(塗料缶に現場名を明記したシールを貼る)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する塗料のSDSを収集した。 ・継続し材料(常備材料を除き)には全てに在庫管理のシールを貼り適切に管理が出来た。 	○	継続して実施する。
5. 環境対応塗料の紹介 ①熱交換塗料の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・戸建ての塗替え受注が出来ず、熱交換塗料の提案に至らなかった。 	×	継続して実施する。

評価：○環境活動計画は概ね実施出来た。△実施したがまだ不十分。×計画通り実施出来なかった。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、 訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規等について、2月25日に遵守評価を実施した結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

○主な環境関連法規

環境法規則等	規則内容・実施
産業廃棄物処理法	産業廃棄物の委託処理 ・委託先の許可確認 ・委託契約の締結（契約書の5年保存） ・マニフェストの管理 廃棄物の処理 ・保管基準（積上げ高さ、雨・風・悪臭発生に対する養生、保管場所の掲示）
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業 ・労働基準監督署への計画書等の提出

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

近年の猛暑は益々過酷な状況になり、暑い日々が続く為、夏場はどうしてもエアコンの稼働による電気使用量の増加が抑えられない。サーキュレーターの併用使用、休憩時間の消灯等エコアクションに努めているが、削減には至らなかった。

昨年は大規模現場の増加に伴い産廃も増えているが、現場サイドでも材料の発注や、無駄の無い副資材の使用に努め、塗料缶と養生材の分別廃棄などを徹底しているため、環境対策の意識は定着してきているように思います。

昨年は1台新車を購入し、より燃費の良い車に代えた事で、多少でも燃料費削減に貢献できたと考えている。引き続き来年度も新しく車両を購入予定があるので、更なる燃料削減につなげられると考えている。エコドライブの教育は引き続き行っていこうと思う。

(以上)